

## 東電と政府は、福島原発事故の「汚染水」の海洋放出をするな！ 漁業者だけでなく、韓国、中国、太平洋諸国が反対している

国際原子力機関(IAEA)は7月4日に、「計画は国際的な安全基準に合致」し、人や環境への影響は「無視できるほど」とする調査報告書を公表した。IAEAは日本政府の依頼に対して調査団を結成し、約2年間にわたり東電や経済産業省、規制委員会から聞き取りを行い、現地視察を行った。汚染水の安全性は東電のデータと提供されたサンプルの調査だけで、タンクの上澄みの下の汚泥などの検査は行わずに作成された「作文」にすぎない。

### IAEAの「報告書」は「方針を支持するものでない」

IAEA という組織は原発推進のための国際組織である。福島原発事故の影響から、子どもの間で甲状腺がんが増加している現実を無視して、「事故に起因する甲状腺線量は総じて低いため、事故による小児の甲状腺がんが増加することはなさそうだ」と無責任な報告書を公表した。

今回の報告書でも予想される批判に対して、報告書の先頭には無責任にも、「**処理水の放出は日本政府による決定であり、報告書はその方針を推奨するものでも支持するものでもない**」と記載されている。

その後の本文も、東電や規制委員会の能力や放出設備の評価だけであり、放射性汚染水を海に放出してもなぜ安全なのか、漁業に悪影響がないのかなどは研究も検討もされておらず、何も記されていない。

### 岸田は夏の放出を強調、地元では海水浴も自粛

自分の言葉では説明できず、信頼してもらえない岸田首相と東電は、この報告書で国際的に安全性が確認されたとして、今年夏の「汚染水の放出」を強行しようとしている。マスコミも「IAEA」報告書を強調し、中国や韓国の批判に対しては、それぞれの国でもトリチウム汚染水を放出していると反論している。しかし**福島**の汚染水は**メルトダウンした原子炉の汚染水**であり、トリチウム以外に64種類の放射性物質が残留していることは報道しようとしていない。

水俣病でも、イタイイタイ病でも、汚染企業は認可された濃度以下の汚染水を排出していたという。しかし汚染物質

が海底の汚泥に蓄積され、魚介類で生物濃縮されることによって恐るべき公害病が発生した。放射性物質の毒性は何万年も続く。トリチウム汚染水でも、カナダやフランスの原発近辺では「小児がん」が発生している。

### 大型のタンクの建設と増設で長期保存すべきだ

福島汚染水問題は、何よりも事故炉への地下水の流入を防ぐ防水壁の建設である。安倍元首相が強行した「凍土壁」は役に立っていない。そして仮設の小さいタンクでなく長期に保管できる大型タンクの建設と保管である。そうすれば100年の単位で汚染水を安全に保管し処理することが可能である。周囲には広大な空き地がある。

## 世界各国から汚染水放出反対の声 中国、韓国、太平洋諸島フォーラム...

4月16日札幌で開かれた G7 気候・エネルギー・環境相会議で共同声明を採択、共同記者会見が開かれたが、西村経産相が「処理水の海洋放出を含むわが国の取り組みが歓迎された」と述べた。それに対して**独環境相は「処理水の放出を歓迎することはできない」と反論した**。結局、西村経産相は「言い間違いだった」と訂正。

国内では全漁連、東北3県、北海道漁連などが反対しているが、**韓国**では国会で「放出の撤回を求める決議」が賛成多数で採択された。**フィジーの政府も反対**。**太平洋諸島フォーラム**は「引き続き強い懸念を表明」と声明した。**中国**は各国政府と協議しながら反対を続行中。

## 沖縄戦78年目の「慰霊の日」を迎えて 沖縄を！日本を！世界を戦場にするな！

6月23日に沖縄戦で最期の激戦地となった糸満市摩文仁の平和祈念公園で、沖縄全戦没者追悼式が開かれた。

### 沖縄の軍事基地化と戦争準備

沖縄では辺野古新基地建設の強行だけでなく、石垣島、与那国島、宮古島等に自衛隊基地が強化されミサイルが配備されている。米軍と自衛隊の共同軍事演習が繰り返され、まさに戦争準備が行なわれている。沖縄では「再び戦場になる」危機感が強まっている。

### 玉城知事は対話による平和外交を

玉城知事は、昨年閣議決定された「国家安全保障戦略」のなかで、沖縄

の軍事化が強調されていることを指摘し、アジア・太平洋地域における関係国の平和的外交と対話による緊張緩和、信頼関係の醸成、県民の理解と行動を呼びかけた。最後に「戦争体験者からの未来への教訓を次の世代へ伝えていくことは私たちの使命です」と述べた。

### 出征学徒へのおばあさんの涙

今年の沖縄全戦没者追悼式では、那覇市の高校生の平安名秋さんが「今、平和は問いかける」を読み上げた。平和を「私達が紡いでいこう、そして世界に届け、平和を創り守っていこう」と述べた。

今、平和は問いかける  
(平安名 秋さん)

(...前略...)  
おばあさんの涙は  
摩文仁の丘に永遠に灯る平和の火は  
今、私達に問いかける  
平和とは何かを  
私達に出来ることは何かを  
私は過去から学び  
そして未来へと語り継いでいきたい  
おばあさんの涙を  
沖縄の想いを  
かけがえのない人達を  
決して失いたくはないから  
今日も時は過ぎていく  
いつもと変わらずに  
先人達が紡いできた平和を、  
次は私達が紡いでいこう  
そして世界に届けていきたい  
平和を創り  
守っていく  
この沖縄の「チムグクル」を

### 自衛官志望者の奨学金は拡充へ (長周 6/28)

防衛省の4月末の発表によると、自衛官の採用は9245人の予定であったが、実際には約4300人で、採用率が過去最低の72%を大幅に下回る46.5%。防衛大学の応募者数も減少し、この3年間で約2000人減少した。

防衛省は奨学金を拡充しようとしている。従来は理科系の学生を中心であったのを文科系にも拡充し、学費支援を充実している。まさに経済徴兵制である。

### 土地規制法 全国161カ所を追加指定 (長周 7/3)

政府の土地規制法に基づく審議会が10都道府県161カ所を規制対象とすることを決定した。5月の審議会で、沖縄の石垣、宮古、与那国、久米島など台湾に近い離島の軍事施設や原発、空港を予定した。関係自治体や住民から反対が表明されたのに、また住民説明会の要求が出たのに、ろくな検討もせずに決定した。

### イスラエルがヨルダン西岸のパレスチナ攻撃 (朝日 7/5)

イスラエルはヨルダン西岸のパレスチナ自治区内のジェニン難民キャンプに軍事侵攻し、大規模な「対テロ作戦」を展開している。この攻撃はこの20年間で最大規模のものである。パレスチナ自治政府は「戦争犯罪だ」と批判し、イスラエルとの安全保障協力を停止した。エジプトやヨルダン、アラブ首長国連邦などもイスラエルを批判した。

### 福島原発事故による自主避難と強制避難 (朝日 7/5)

国連人権理事会の特別報告者は、同理事会の会合に「日本政府が保障や支援政策で、自主避難者と強制避難者に対する区別を『差別的対応』として撤廃を求める調査報告」を提出した。日本政府は「事実誤認」と反論。

### コロナワクチン業務で近ツー支店長再逮捕 (朝日 7/6)

新型コロナウイルスワクチンの業務委託費を過大請求したとして、6月に逮捕されていた近畿日本ツーリストの元支店長など3人が再逮捕された。前回は約6億円、今回は約3億円をだまし取っていた。近ツー関連では他に静岡県焼津や掛川でもあり、総額は約15億円となる。公務部門の業者外注がいかにかデタラメかが明らかとなった。

### 案内 8/20 わだつみ会 8・15 集会(東京) 「アジア侵略の実態と日本の戦争責任」

日本の中国侵略戦争の実態を森正孝さんに講演いただき、あわせて映画「忘れない戦争と侵略-Part4」を上映する。日本の中国、朝鮮、そしてアジアに対する侵略と戦争、植民地化について考えたいと思う。我々は戦争責任をどう果たしていくべきかを論議したい。

「学徒出陣」から80年、わだつみ会はどう考え、どう行動していくべきか、考えていきたいと思ひます。

日時:2023年8月20日(日)  
14:00~16:30 (13:30 OPEN)  
講師:森 正孝 さん(静岡大学教員)  
会場:日本教育会館(一ツ橋ホール)  
オンライン(ZOOM)での参加もできます

#### ZOOM 参加の手順

8月15日までに事務局アドレスに名前と住所を連絡ください。 [noborun2@amail.plala.or.jp](mailto:noborun2@amail.plala.or.jp)

◆参加申し込みされた方には、8月15日までにURLとパスワード、資料を送ります。

### 報告 6/30 原発いらナイト in 宝塚 123回目



6月30日に恒例のチラシ配布を行った。東電の汚染水の放出、関電の中間貯蔵問題、怒りのチラシは瞬間に配布され、市民の反応もよかった。

### 報告 6/25 PTSD日本兵の家族大阪証言集会

2018年に「PTSDの日本兵と暮らした家族が語り合う会」が発足し、2022年に「証言集会」が開催された。今回、大阪で証言集会が開かれ、130人が参加した。

黒井代表から経過と、今後の予定と課題が説明された。講師の中村平さん、北村毅さんの体験報告と講演が行われた。続いて3人の家族から父親がPTSD患者であった報告が行われた。その後、参加者の交流会が行われ、体験が語られた。



黒井代表の挨拶

### 報告 7/2 「ハンセン病問題と通底する諸問題」 国立ハンセン病資料館学芸員不当解雇抗議

患者団体が苦難の中で作り上げてきたハンセン病資料館を、政府は笹川保健財団に管理を委託し実質的に破壊しようとしている。それと闘う「不当解雇救援会」が宝塚市で開かれた。



木村真三さん



稲葉・大久保さん

放射線衛生学者である木村真三さんの講演会があった。木村真三さんは、ハンセン病問題をはじめ原子力問題、難民問題、民族差別、部落差別の底には共通して人権問題があると話された。

解雇攻撃と闘う稲葉さん、大久保さんからの経過報告を受けて、勝利までの闘いの強化を誓い合った。

### 案内 「堺 平和のための戦争展 2023

「堺 平和のための戦争展」は、8月5~6日に開かれる。教育委員会の後援も受け、学校での案内チラシの配布、社会福祉協議会の市民活動団体にも公認された。活動条件も整備された。

日時:8月5日(土)~6日(日) 9時~  
場所:堺サンスクエアホール



### 案内 8/27 関東大震災虐殺100年大阪集会

あの時、「民族排外主義」に染められた私たちは、隣人である朝鮮や中国民衆を無残に殺戮し、やがて「侵略戦争」の道を突き進んだ! そして今、新たな……

日時:8月27日(日)

13時から16時

資料代:300円

場所:PLP会館4階

集会:大会議室

展示:小会議室

講演:慎民子さん

講演:林伯耀さん

